

群馬県商店街振興組合連合会 視察研修会・組合員講習会

当連合会では商店街の活性化につなげるべく、会員組合向けに研修などを開催しています。今秋開催した視察研修会・組合員講習会をご紹介します。

視察研修会

10月29日、山梨県富士吉田市の富士吉田本町通り商店街などを視察。5月に開催した総会時の研修会で空き家再生・移住促進等の取組みを聞いており、その講師を務めた合同会社OULO代表・赤松智志氏の案内で、現地の様子を見て回った。

氷屋をリノベーションした「ふじよしだ定住促進センター」をはじめ、赤松氏が直接リノベーションに携わった「SARUYA HOSTEL」、「ハモニカ横丁」、有志により生まれ変わった飲み屋街「新世界乾杯通り」などを見学。各スポットの特徴やリノベーションにかけた思いなど、赤松氏の説明に参加者は熱心に耳を傾けていた。

商店街を出発後、富士河口湖町の「富士山世界遺産センター」や名産品の複合店舗施設「富士大石ハナテラス」などにも立ち寄り、富士山の歴史や地元産品についても理解を深めた。



築80年の木造建築を改装した SARUYA HOSTEL



富士山世界遺産センターでは解説を受けながら映像による登山を体験した



ふじよしだ定住促進センター(上) ハモニカ横丁(下)

組合員講習会

11月21日、沼田市・下之町神明会館において、沼田市下之町商店街(振)を対象として、「お店のファンを増やすためのブランディング」をテーマに組合員講習会を開催。講師は、株式会社プロタゴワークス代表取締役・赤根正太氏と、同社取締役・野尻浩美氏。

講師は、お客様が商品を選ぶ基準が「低価格」か「価値の高さ」に二極化する中、「他店との違いを自店だけの価値」ととらえ、お客様に浸透させるブランディングの重要性を説いた。そのうえで、アウターブランディング・インナーブランディングの定義や、基本となる考え方などを解説した。

解説の後、参加者が自店のブランドコンセプトを作成しグループ内で発表。他店と考えの違いを知ること、自店の理念を再確認した。



ブランディングの手法を解説

群馬県中小企業団体
青年協議会
4県交流会・全国講習会

〔4県青年中央会交流会〕

11月8日、草津町・草津温泉ホテル櫻井において、群馬県、茨城県、栃木県、千葉県の4県青年中央会による交流会が行われ、今回は神奈川県の子青年部会長の参加もあり、合計30名が集まった。

一行はハツ場湖の駅丸岩より水陸両用バス「にゃがてん号」に乗車して湖上より大自然を満喫した後、草津温泉に移動して観光協会による湯畑見学ツアーに参加。湯畑のライトアップを見てから交流会会場へと向かった。

草津の湯を堪能した後の交流会では、終始和やかに交流が図られた。



水陸両用バスの前にて



大広間にて交流会を開催

〔組合青年部全国講習会〕

11月15日、長崎県長崎市・スタジアムシティホテル長崎において、組合青年部全国講習会が開催され、全国から約220名が参集し、本県からは小林剛士会長を含む4名が参加した。

講習会は3部制とし、第1部を(株)ジャパネットホールディングス取締役及び(株)リージョナルクリエーション長崎・岩下社長が『ジャパネットグループが本気で取り組む地域創生事業～長崎スタジアムシティの取り組み～』について、第2部では和倉温泉旅館(協)青年部・奥田部長が能登半島地震被災後の能登の復興における『青年組織に求められること～震災時の対応など～』をテーマに講演し、第3部では災害協定を締結している青年部より事例発表が行われた。

懇親会では、五嶋町くち協賛会より郷土芸能である「龍踊(じゃおどり)」が披露された後、来年度の通常総会開催県である鳥取県に団体旗が継承され、開催県のPRが行われる等、賑わいがみられた。



大迫力の龍踊の主役

群馬県中小企業団体
事務局長会
役員会・冬期研修会

12月16日、高崎市・ホテルメトロポリタン高崎において、役員会及び冬期研修会を開催した。

役員会では、令和6年度の視察研修会を2月17日に太田市の(株)日東システムテクノロジーズにて実施することや会則の見直し方針について総会議案提出に向けた改定案を審議していくことが決定した。

研修会では、ファイナンシャルプランナー・宮一F P事務所・代表宮一幸子氏が、『新NISAを活用した資産運用戦略』をテーマに講演。

講義では、職場での金融教育が社員の離職率の減少や自立した社員の育成につながると説明し、お金の正しい知識やお金に関する適切な判断力＝「金融リテラシー」を向上させることで、経済的に満たされた状態＝「経済的なウェルビーイング」になると説いた。



講師の宮一氏

その後、懇親会を開催し、会員相互の懇親が深められた。



乾杯の様子(左)